情報にアンテナをはれ！ ランクUP店舗へ！

売上情報局

AI原稿をビジネスに変えよう

AIで作った原稿、そのまま印刷して大丈夫？

～ AI時代に求められる、印刷屋の「確認力」と「提案力」～

最近、「AIで作ったチラシ（ポスター・名刺・メニューなど）を印刷してほしい」というお客様が増えています。AIは手軽に原稿を作れる便利な道具ですが、そのまま印刷すると、文字の誤りや権利の問題など、思わぬトラブルにつながることも。今回は、AI生成の原稿を受けたときに、印刷屋としてやるべきポイントをまとめました。



① まずは原稿の状態を確認！

- 文字の誤り・読みづらさ
- 不自然なデザインや意味不明なロゴ
- 写真やイラストの不自然な部分（手の形・背景など）



AIへの指示例
「この原稿を印刷用にチェックして、気になる点を教えて」

ポイント お客様と一緒に、仕上がりイメージを確認しましょう。

② 印刷できるデータか確認！

- 解像度は十分か？（目安：300dpi以上）
- 仕上がりサイズは正しいか？（A4・A3 など）
- 塗り足し（余白）はあるか？（四辺3mm程度）
- 文字の大きさ・色の見やすさ



AIへの指示例
「この画像を印刷用（300dpi・A4・塗り足し3mm）に最適化して」

ポイント 画面でキレイでも、印刷すると粗くなることがあります。

③ 権利や内容の確認も忘れずに！

- 有名キャラクターやアニメ風の人物が含まれていないか
- 企業ロゴ・ブランドに似たデザインはないか
- 他人の写真や著作物をもとにしていないか
- 不適切な表現や誤った情報がないか



ポイント 利用してよい素材か、お客様に必ず確認しましょう。（商用利用の可否・使用許諾の有無など）

④ 問題があれば、改善を提案！

「このままでは印刷できません」で終わらせず、印刷物としてより良く仕上げるための改善案を提案しましょう。

よくある改善例

- ☑ 誤字の修正・文字の打ち直し
- ☑ 画像の高解像度化・差し替え
- ☑ レイアウトの調整（見やすく整理）
- ☑ サイズ・塗り足しの設定
- ☑ 権利が不明な素材の変更（オリジナル素材への作り直し）



対応の流れ（かんたん4ステップ）

① 原稿を受け取る（AIで作成した旨を確認） → ② 内容をチェックする（品質・権利・印刷条件） → ③ 必要な修正を提案（改善案・見積りの提示） → ④ 仕上がりを確認して印刷（お客様と最終確認）



今回のポイント

- ☑ AI生成でも、まずは“確認”が基本
- ☑ 品質・権利・印刷条件を必ずチェック
- ☑ 問題は「改善提案」で解決につなげる
- ☑ データ調整を有料サービスとして提案

今月のひとこと



AIは、誰でも手軽に原稿を作れる便利な道具です。だからこそ、「印刷物として問題なく仕上がるか」を見極め、お客様の目的に合わせて、より良い形に整えるのが**印刷屋の価値です！**

本部スタッフからのひとこと



AIで作った原稿の印刷依頼は、今後ますます増えていきます。単なる「印刷」だけでなく、データの確認・調整・再制作まで含めたご提案で、お客様の信頼と売上につなげていきましょう！

卒園・卒業

来春へ向け、卒園、卒業用に記念品の相談がちらほら出ると思いますが、定番の印鑑やボールペン以外のアイテムとして制服にまつわる関連グッズの人気が出ているようです。年々個性ある制服も増えており、印象に残る思い出アイテムになる事が要因です。部活、クラブ等のユニフォームのデザイン等では以前からある商品ではありますが、現在は制服をデザインしたアイテムが人気が出ているようですので参考にしてみましょう。

